

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスmarcher(マルシュ)		公表日		2025年3月25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		2	4
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	4	送迎等の配置で薄くなる場合もあるが常に工夫している	利用日や児童によって配置数が心配な時もあるが常に調整し工夫するように心掛ける	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	2	子ども目線での配置や子どもの導線を考え配置等を考えている	常に安心安全を心掛ける	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1	室内の掃除やおもちゃなどの消毒は定期的に行っている	常に安心、安全な空間づくりを心掛ける	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	3	部屋の確保はできずスペースとして環境を作っている	小スペースでいいので部屋として確保したい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4	2	・集団活動等で主に活動している ・PDCAサイクル作成が目的にならないように注意している	日々の目標設定はしっかり行い同様に振り返りも納得できるまで議論するとともに次につながるよう努める
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	1	アンケートだけではなく利用者の視点を持って支援している	アンケートの実施や保護者からの情報を職員間で共有し、迅速に改善へとつなげていけるように努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	2	毎朝のミーティングにて、振り返りや情報交換を行っている	長期休み等の業務内での時間確保に工夫を要する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	5	外部評価の重要性に対して理解を深めたい	外部評価の重要性をより深く改善につなげていけるように努める
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3	3	他事業所とのつながりや研修の情報を共有している	常に職員の質の向上を心掛け、関係機関での研修等に積極的に参加する
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		3	3	支援プログラムは再度新鮮さを求め作成を行い事業所内外に公表している	支援プログラムの適切さを会議等で議論を要する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5	1	・アセスメントをもとに職員間で共有し作成している ・担当者会議やモニタリングを実施している	アセスメントをもとに子どもと保護者のニーズや課題を分析できるように全職員参加で会議を開催し計画書を作成する
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		2	4	会議等で全職員に対し共有理解を行い、意見交換をし作成している	アセスメントをもとに子どもと保護者のニーズや課題を分析できるように全職員参加で会議を開催し計画書を作成する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		2	4	モニタリング会議や支援者会議等が開催された際には、その都度ミーティングでの情報共有を行っている	個別支援計画書に対しての勉強会を行えるよう環境を整えていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	3	アセスメントツールを用いて確認し職員間で常に情報交換を行っている	児童発達支援計画の情報は職員間で共有できる環境づくりを徹底する
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4	2	会議等を開催し決定している	児童発達支援ガイドラインの情報は職員間で共有できる環境づくりを徹底する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		3	3	ミーティング等で話し合って決めている	活動の目的を見失わないように意見を言える環境づくりに努める
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		3	3	多様なプログラム、同じプログラムでも内容を改善している	会議を開催し話し合いで決定する

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	職員の多様な視点で計画を作成し支援を行っている	職員の多様な視点にもとずいて計画を作成する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎朝ミーティングを開催し打ち合わせを実施している	朝礼の時、もしくは数日前から計画を行い支援内容を話し合う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	会議等で前日の振り返りを行い、確認共有を図っている	後日には必ず振り返りを実施し問題等があれば、解決方法を探り情報を共有する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用日は記録を記載している	記録は毎日行い検証や改善につなげ情報を職員間で共有する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		常に児童の変化に注目して支援計画を改善している	日々の記録や職員の情報をもとに評価を出し定期的な見直しや児童発達支援計画の必要性を判断する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		児童に応じて組み合わせを行っている	基礎基本の勉強会を月ベースで行えるよう環境を整えていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2	自己選択ができるように一緒に考える支援を行っている	スモールステップを念頭に置き、自己決定力の向上支援を努める
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		職員間で情報共有し支援の中から有益な情報を習得し参画している	担当者会議の前に全職員参加の会議を開催し有益な情報を伝えられるよう努める
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	関係機関からの情報を共有し支援を行っている	関係機関との連携した支援を徹底する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	送迎の際の申し送りは適切に行うよう心掛けている	学校との情報共有、情報交換、確認事項徹底し連携した支援に努める
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	会議等に参加し情報共有している	関係機関への情報提供は協力する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	移動や卒業前に会議を開催し情報提供を行っている	関係機関への情報提供は協力する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	会議等を開催し情報共有を図っている	支援者会議等に、積極的に参加し情報共有と相互理解を図る
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	公園や野外活動で多少の交流がある	野外活動で交流を広げていくよう努める
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	機会が中々ない	積極的に参加し、得た情報の共有に努める
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	保護者からの情報を職員で共有し支援につなげている	より詳細に支援に繋げられるよう心掛ける
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	保護者との信頼関係を築き、家族支援を行っている	ペアレント・トレーニング等の支援ができる環境づくりに努める
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3	契約時に説明を行っている	丁寧な説明を心掛ける
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	3	会議等開催し、情報共有、話し合いで計画を決定している	常に保護者とも相談しながら、支援内容の同意を得られるように努める
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1	会議等で説明を行い同意を得ている	常に保護者とも相談しながら、支援内容の同意を得られるように努める
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	保護者からの相談があった際には対応を行っている	保護者からのご相談には適切に応じられるように、また相談しやすい環境づくりに努める

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	要望があれば交流できるように支援を行っている	定期的に開催できるように努めます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・保護者からの相談は迅速に職員間で共有し適切な対応を心掛けている ・子どもの相談、苦情もしっかり対応している	子どもや保護者からの相談は職員間で共有し適切な対応を心掛ける
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		親しみやすい会報を毎月配布している	親しみやすい会報を心掛け参加したくなる行事を立案していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	3	個人情報に関する資料は慎重に扱っている	個人情報に関する資料はより慎重に扱うよう徹底する
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		誠意ある対応に努めている	一人ひとりにあった配慮を心掛ける
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	バザーやイベントなどを開催している	たくさんの人を巻き込んでいけるようなイベント等を考え実行できるよう努める
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4	年に数回実施している	年間行事として実施する事、保護者への周知徹底
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	年に数回実施している	年間行事として実施する事、保護者への周知徹底
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	3	リスト等を作成し全職員で情報共有を行い確認している	確認を怠らずスムーズに連携が取れるよう心掛ける
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	情報を共有し対応している	より詳しい対応方法の研修があれば参加できるようにする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4	全職員で周知し支援を行っている	安心安全を心掛けて環境づくりを徹底する
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	会議等で説明を行い周知している	安心安全を心掛けて環境づくりを徹底する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事例集をファイルして共有している	ヒヤリハット事例集ファイリングを怠らず情報共有を行い常に安全、安心を心掛ける
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	他事業所と連携して研修の情報を共有し対応を行っている	研修は年間行事として実施する
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	対応の仕方について会議等で決定し、保護者に説明を行った上発達支援計画に記載している	子どもや保護者に事前に説明し了解を得たうえで児童発達支援計画に記載することを徹底する	